

## 2025-Ⅲ「就学前の特別支援教育」

オンライン  
受講可  
アーカイブ  
配信あり



# モンテッソーリ教育の 日常での活かし方

「切る」「つまむ」などの身体の動きや、「見る力」「比較する力」「推測する力」など日常生活で使う基礎力の練習について、  
実際の提供方法を一緒に考えてみましょう！



2026年

1/23<sub>金</sub> 30<sub>金</sub> 2/6<sub>金</sub> 13<sub>金</sub>

19:00 ~ 20:30 全4回

講師： 松本 恵美子（関西国際大学 講師）  
特別支援教育士スーパーバイザー

会場： 関西国際大学 尼崎キャンパス

対象： 幼稚園・小学校教諭・保育士・福祉関係職員など。  
興味のある方ならどなたでも

料金： 8,800円(全4回分)  
事前入金制。キャッシュレス決済もしくは口座振込

定員： 対面 30名 ・ オンライン 200名  
(先着順・定員になり次第締切)

締切： 申込締切1/16（金）・入金締切1/19（月）

お申込み・詳細HP



# 2025-Ⅲ「就学前の特別支援教育」 モンテッソーリ教育の日常での活かし方

## 内容

### モンテッソーリ教育と言え、

感覚教具や数の教具などに目を向けがちですが、実際に教具を使い始める前に日常生活の中でしっかり身につけておかなければならない基礎力があります。

例えば、上手に自分の体を動かす力が身についていなければ、教具を正しく扱うことはできません。

身体の動き、見る力、比較する力、推測する力などは、日常生活の中で培われます。このような力を育てるのが日常生活の練習なのです。そして、日常生活の中で感じたこと知ったことを整理するのが教具の役割ということになります。

今回は、この大切な日常生活の練習について、実際にどう提供していけばよいのか、皆で一緒に考えていきましょう。



## 講師

松本 恵美子（関西国際大学 非常勤講師・特別支援教育士スーパーバイザー）

神戸市立知的障害者通所授産施設たまも園元園長。元神戸市福祉職。神戸市ケースワーカー・心身障害福祉センター・児童相談所などで、障がいをもつ子どもと家族への支援に長年携わる。発達障害児の早期発見・早期療育のため、産学共同でのスクリーニングシステムの全市的に導入やスクリーニング後のフォロー教室立ち上げなど、神戸市各区の乳幼児支援体制にかかわる。

社会福祉士・モンテッソーリ教育ディプロマ・特別支援教育士スーパーバイザー所持。

回	日程	主 題	内 容
1	1/23 (金)	身体を上手に使う	「じゅうたんを運ぶ」「バケツで水を運ぶ」「お盆の上にコップを載せて運ぶ」などの提供について考える。
2	1/30 (金)	手を上手に使う①	「紙を切る」について、子どもの手の動き、発達のレベルに応じ、何をどのように提供すればよいかについて考える。「きゅうりを切る」「じゃがいもをむく」についても考える。
3	2/6 (金)	手を上手に使う②	「雑巾を絞る」「机を拭く」「茶碗を拭く」「鼻をかんで拭く」などの提供について考える。
4	2/13 (金)	分別する	色・形・大きさなどにより物を分別する。園富に何を使って「つまむ」「のか、どのような容器を使うのか」子ども達の発達のレベルに応じて考える。

●特別支援教育士資格更新ポイントは、4回全てリアルタイムで受講された方にのみ2ポイントが付与されます。（申請中）

※オンデマンド配信による視聴は対象となりません。

お申込み  
問い合わせ先

関西国際大学 社会連携課(尼崎キャンパス)

〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江1-3-23

☎06-6496-4103 / E-mail: kouza@kuins.ac.jp

